



きらり★きくにし

文責 校長 佐藤 正貴

前期終業式・後期始業式

10月10日（金）が前期終業式、10月16日（木）が後期の始業式でした。この通信を書いているのは、10月末です。気が付けば、あと2ヶ月で今年も終わりになります。50歳を過ぎてから、1日1日の過ぎていく速さが、加速度を増しています。毎日、その日の仕事の段取りを考えて取り組んでいるのですが、以前は予定通りできていたことが、今は終わらないことが増えてきました。1日が過ぎるのは早いけれど、仕事のスピードは遅くなっているという悪循環を何とか改善しようとしている今日この頃です。

さて、今回は終業式と始業式で児童に話したことを紹介します。

前期終業式の話

～前略～ 生活の場面で、様々な式があります。小学校でいうと入学式や卒業式、そして大人になると成人式などがありますよね。この式というのは、皆さんがこれから生きていく中での節目となります。節目とは、ある物事が終わると同時に、これから新たな出来事が始まるということです。今日の終業式も、一つの節目です。この節目で大切なことは、これまでの自分自身を振り返り、できていることや、できなかったことを見つめ直し、次の節目に向かって、どう生活をしていくのかということを考えることです。

では、皆さん、先生が前期の始業式に話したこと覚えていますか？先生が皆さんに伝えたのは、「人の話を聞く力」をつけてほしいということでしたよね。学校生活の中で、このことができましたか。授業中、先生が話をしていることをきちんと聞くことができましたか。友達が一生懸命に伝えていることを、分かろうとしながら聞くことができましたか。友達がみんなに分かってもらおうと発言しているときに、途中で言葉をはさんで、さえぎってしまうことはなかっただですか？

学校は、皆さんが、それぞれの未来をどう生きていくのかということを考え、準備をする場所です。「人の話を聞く」というのは、皆さん一人ひとりが、学校で将来に向けて学んでいくことを大切にしている姿の表れです。簡単に言うと、話を聞くことができる人は、人を大切にできる人ということです。隣の友達、学級の友達、学校の友達を大切にしているということです。そして、なによりも自分自身を大切にしているということです。

今日という節目の日に、前期の自分はどうだったかを見つめ直してください。「できていた」と思う人は、更にレベルアップしてください。「できていなかった」と思う人は、後期に改善できるように取り組んでください。

人の話を真剣に聞くことができる人は、自分の周りにいる人から大切にされます。そうして、人と豊かに関わることが、皆さんの幸せな人生につながります。～後略～



【前期終業式】
話の聞き方がとても上手になりました。

後期始業式の話

～前略～ さて、今日から後期がスタートします。前期と大きく違うのは、この前話があったとおり、日課が変わることです。学校では、「時間を守ることが、大切になってきます。なぜかというと、皆さんが学校に来る大きな理由の1つが、自分自身の将来のために学ぶという、「自分を磨く」ことだからです。自分自身を磨くために、学校には授業時間があります。時間を守らないということは、自分を磨くための時間を失っているということです。また、友達のその時間を奪ってしまっていることもあります。「人の話を聞く力」と合わせて、学校生活の中で意識して活動してください。

最後に、自分自身を磨くために授業が大切であると話しましたが、実は、自分自身を磨くためには授業より大切なことがありますと先生は思っています。何か、分かりますか？

それは、「人とのつながり」です。人は、自分一人では、自分の力を磨くことが難しいと先生は考えています。例えば、自分があこがれている人を見て、「あんなふうになりたい」と思い、努力すること。自分の身近にいる友達の姿を見て、「自分もできるようになりたい」と思い努力すること。こうして、自分自身が目指したい姿やなりたい姿に向かって努力すること、自分自身を今よりも磨いていくことになります。

では、この「人とのつながり」をつくっていく上で、大切なことは何だと思いますか。先生は、まず、「あいさつをすること」だと思います。人との出会いは、あいさつからです。朝、挨拶があると、私はなぜか安心します。挨拶がないと不安な気持ちになります。みなさんは、挨拶をしていますか。あいさつは、人と人との繋いでいく大切な言葉です。～後略～

【後期始業式】
「自分を磨くこと」について、みんなで考えました。

